

東吾妻町 議会だより

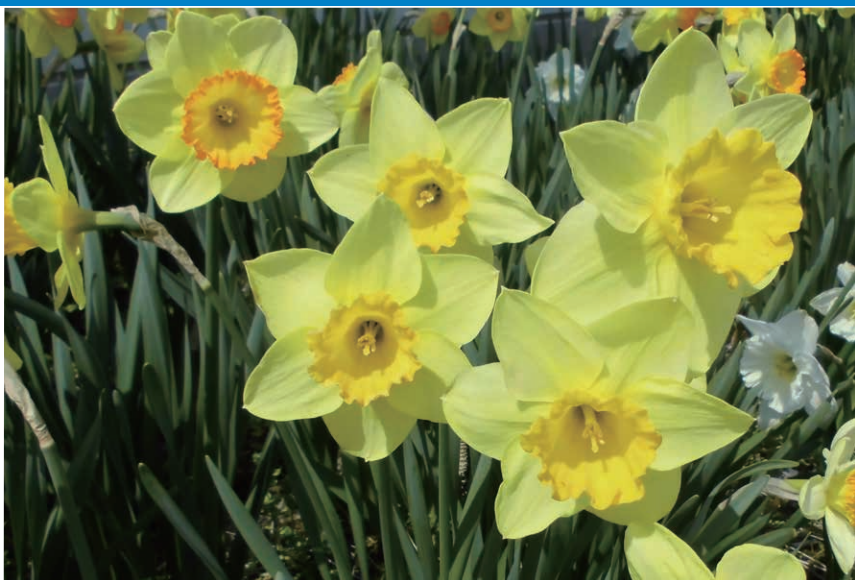
第 **57** 号
みんなの議会
2020.5.1



岩井親水公園の春（4月7日／岩井地区）

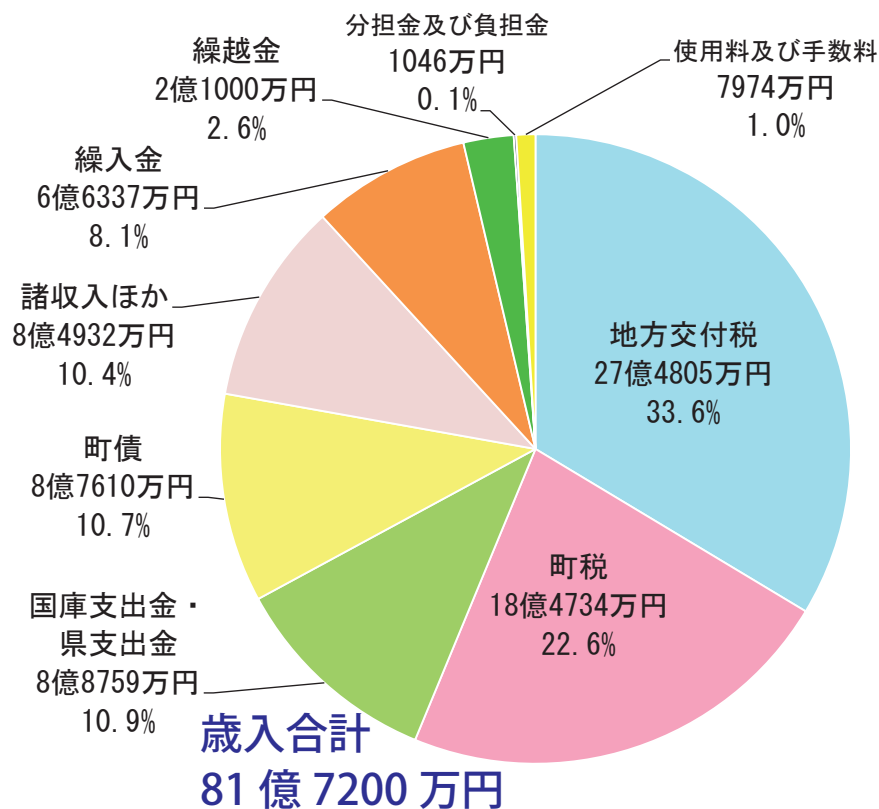
今号の内容

- 税金の使い道が決まりました … 2
- 7議員が町政を問う **一般質問** … 8
- 各委員会からの活動報告 … 16
- まちの声 … 18



税金の使い道が決まりました

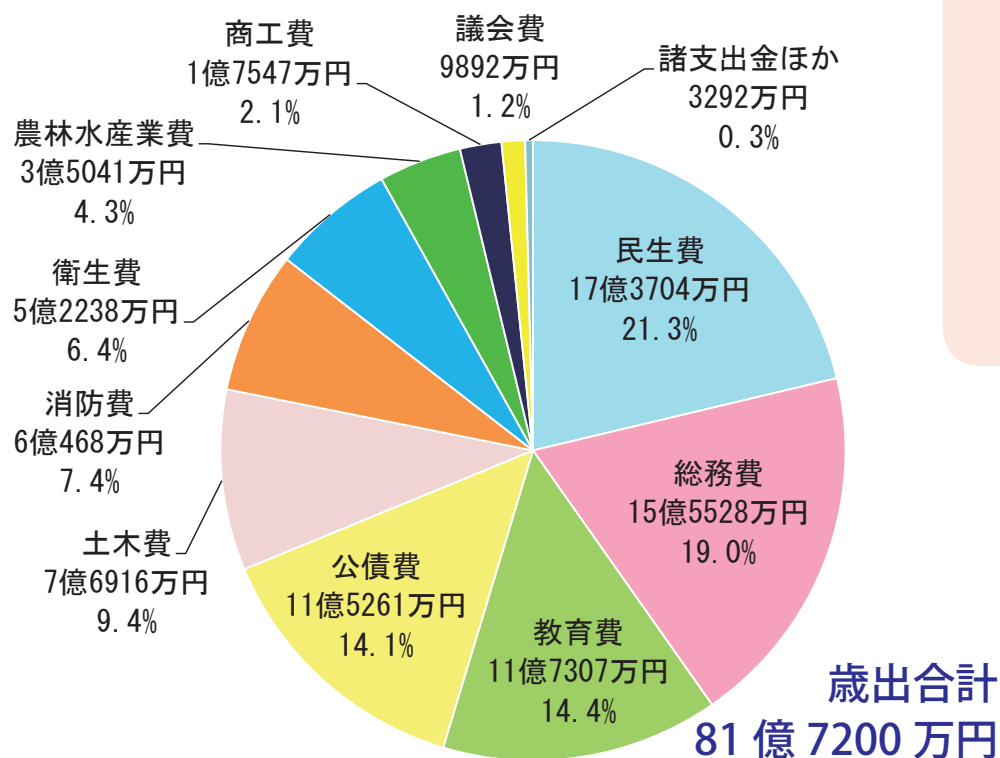
令和2年度一般会計当初予算は 81 億 7200 万円
前年度にくらべ 1 億 2300 万円の減額（1.5%）



令和2年第1回定例会が、3月4日から17日までの14日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。

会期中、町長から提案された令和2年度の当初予算や条例の改正、令和元年度の補正予算などの議案が審議されました（議案などの審議結果については、15ページの表をご覧ください）。

なお、町政一般質問には7人の議員が登壇して町政を質しました（8から14ページをご覧ください）。



質疑

原町こどもクラブについて

議員 原町こどもクラブ運営費補助金については、川戸にある旧原町保育所に振り替えると担当課は明言している。この予算書の説明欄を訂正してはどうか。

町長 原町こどもクラブは、先頃、総代会から利用者に対して廃止をするというお知らせがあったということだが、現在、運営主体の宮司さんから、こどもクラブ廃止の正式な文書が、まだ届いていない。そのため、予算上はこのようになっている。

議員 予算の説明では、旧原町保育所に予算を使わせてくれというものが、文教厚生常任委員会では決して容認できないという旨を確認している。今、この予算を審議しているわけで、賛成するということは、旧原

町保育所で賛成ということになる。だから、説明欄を訂正し、その部分については検討する。そういう考えはないか。

町長 正式な形での廃止届けは出ていないので、廃止されるだろうと想定

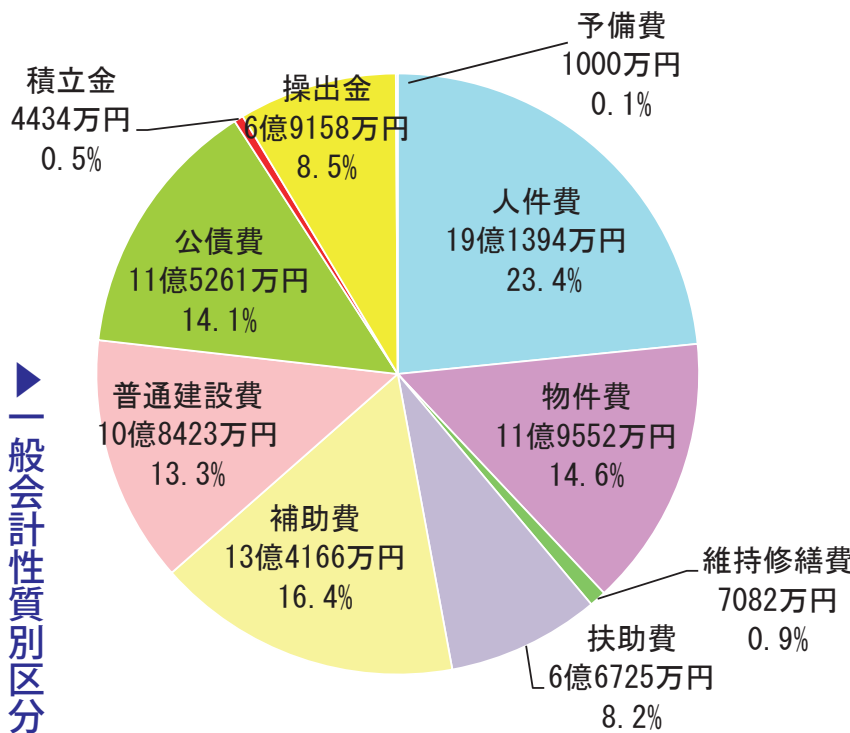
の上で予算を決定するということにはならない。現状を踏まえた中で予算を計上した。こどもクラブの運営補助金ということで計上している。

議員 担当課長が予算は

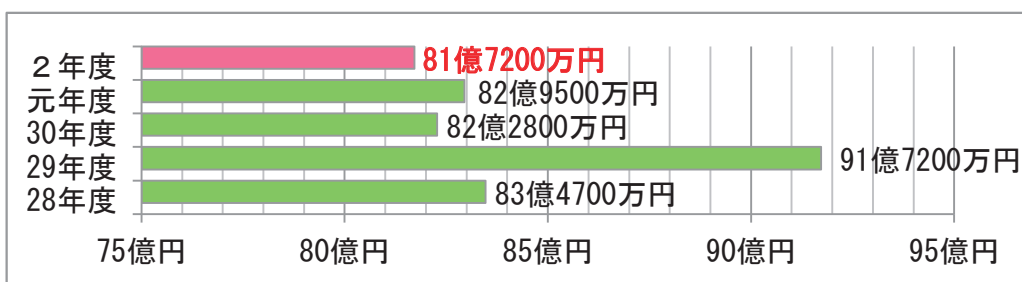
令和2年度 予算編成方針

国の予算成立を受け、町といたしましては、新庁舎や保育所など大型事業は完了いたしました。台風19号による災害の道路等の復旧に加え、会計年度任用職員制度の導入により

ます人件費の増など、財政状況は依然として厳しいままでございます。今後は、総合計画の基本理念を着実に推進していくことを踏まえ、令和2年度一般会計当初予算を編成してまいりました。総額では81億7200万円の予算規模となり、対前年度比では1.5%の減、金額にして1億2300万円の減額となりました。



▼一般会計当初予算額の推移



旧原町保育所に係る運営経費だと明言している。そういう理解でよいのか。

町長 説明したように、そのような形で予算を計上している。

議員 この件について保護者から嘆願書が出ていると聞いている。現在の場所運営してほしいというところのようだが、町では旧原町保育所を使いたいという意見のようだ。保護者に伝えて理解してもらおうということが重要と思う。保護者と話合いたい。そういうものを持つたか。

町長 この件については、今週中に保護者の方と意見交換を行うことになっている。

議員 最も重要なことは、保護者の要望に応えるということだと思つ。この点についてはどうか。

町長 保護者の皆様のご意見等も伺いながら、町として最善の方法を取っていききたい。

▼令和２年度会計別予算額

会 計 名		歳 入 ・ 歳 出		
		令和２年度	令和元年度	対前年比
一般会計		81億7200万円	82億9500万円	▲ 1.5%
国民健康保険 特別会計	事業勘定	18億443万円	17億8923万円	0.8%
	施設勘定	8529万円	9062万円	▲ 5.9%
後期高齢者医療特別会計		2億833万円	2億623万円	1.0%
介護保険特別会計		17億8774万円	17億3166万円	3.2%
地域開発特別会計		4145万円	4684万円	▲ 11.5%
下水道事業特別会計		5億5112万円	5億1831万円	6.3%
簡易水道特別会計		7160万円	6732万円	6.4%

公営企業会計名		収 入		支 出	
		令和２年度	令和元年度	令和２年度	令和元年度
水道事業会計	収益的	2億144万円	2億74万円	1億9587万円	1億9933万円
	資本的	1億5530万円	1億1870万円	2億6619万円	2億3660万円

▼令和２年度に繰り越すことが決まった事業

事 業 名	金 額
まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略策定支援業務委託料	220万円
定住促進事業住宅取得奨励補助金交付事業	1175万円
水源地域活性化支援事業	3363万円
吾妻渓谷活性化対策事業	4170万円
住宅新築改修等補助金交付事業	153万円
渓谷自然公園事業	195万円
道路改良事業（町道５０５９号線（須郷沢））	300万円
道路改良事業（町道馬場・相原線）	1190万円
道路改良事業（町道５０８５号線（上野・在下））	120万円
道路改良事業（馬場・手子丸線）	2000万円
道路改良事業（上信自動車道関連）	1351万円
道路改良事業（上信自動車道一部開通プレイベント）	250万円
橋りょう維持費	5325万円
公営住宅管理費	690万円
国・県指定文化財保護事業	100万円
河川復旧費	201万円
道路復旧費	1億7616万円

議員 保護者との話合いの中で、要望が多ければ、現在の場所継続していくという選択肢はあるか。

町長 これから意見交換を行う、その結果をもつて判断をする。

原町赤十字病院について

議員 今回、原町日赤医

師確保対策補助金ということでは、1500万円ほど計上している。日赤の現状の運営に対する説明は承知しているが、今後どうするのか。自主努力、改善計画をどうやっていくのか。説明を求める。

保健福祉課長 原町日赤

の運営状況について、長

年赤字経営が続いており、資金繰りが悪化している状況が確認された。経営を圧迫している大きな要因として、常勤医師が減少しており、医師確保のために原町日赤は年間約6000万円を手当てしている。原町日赤からの提案で、医師確保のため

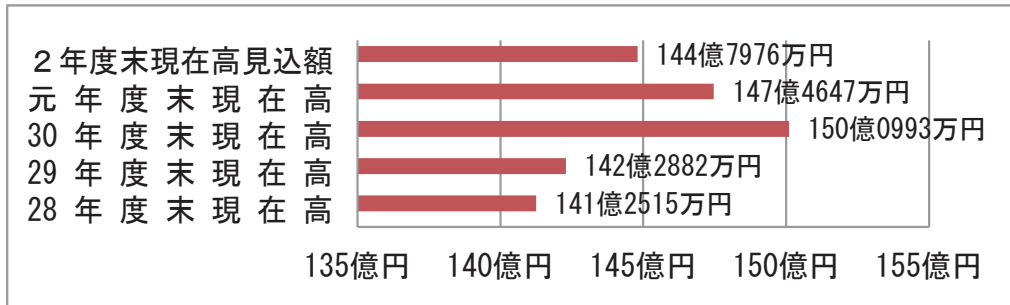
の手当ての約半分の3000万円を東部吾妻の3町村でお願いできないかという要望をもらった。そのうち東部吾妻については1500万円という要望金額が提示された。

議員 中之条町、高山村については当初予算には計上しない、補正で組む

▼町債残高一覧表

区 分	令和元年度末現在高	令和2年度末現在高見込額
一般会計	114億8440万円	113億8885万円
国保特別会計(施設勘定)	907万円	642万円
地域開発事業特別会計	0円	0円
下水道事業特別会計	24億8285万円	24億0019万円
簡易水道特別会計	1億7890万円	1億7790万円
水道事業会計	5億9122万円	5億638万円
合 計	147億4647万円	144億7976万円

▼町債残高の推移



▼令和元年度 補正予算一覧表

会 計 名	補正額	予算総額
一 般 会 計	△1262万円	89億1300万円
国民健康保険特別会計(事業勘定)	△2776万円	17億9171万円
国民健康保険特別会計(施設勘定)	△500万円	7979万円
後期高齢者医療特別会計補正予算	△253万円	2億391万円
介護保険特別会計補正予算	1353万円	18億150万円
地域開発事業特別会計補正予算	18万円	4828万円
下 水 道 事 業 特 別 会 計	△1434万円	5億1965万円
簡 易 水 道 特 別 会 計	△366万円	6952万円

表 彰



地方自治の発展に貢献した功労者として、根津光儀議員が全国町村議会議長会長から自治功労者表彰(議員10年表彰)を受け、第1回定例会初日(3月4日)に須崎議長から伝達が行われました。

原町こどもクラブ運営費に係る予算について、まだ当施設、当クラブの廃止届けが出ていないことによりこの形で予算が計上されているということとで、反対する理由はない。よって、当初予算に賛成する。

根津光儀議員

賛 成 討 論

町長 当町は原町日赤の所在町なので、いち早く当初予算に計上した。中之条町、高山村については、補正予算でというふう

議員 中に聞いている。うに聞いている。にも理解いただき、足並みをそろえて補助金を出していくような努力が必要だ。

議員 課長の答弁の中では、1500万円は日赤の医師確保に直接使われると言っていたが、町長としてはどのように使われるべきと考えるか。

町長 原町日赤病院が本当に充実した病院となるためには、医師確保が必要なので、そういう方向に使われるべきと考える。

■年金支給の隔月支給を毎月支給に改める(陳情)を趣旨採択

反対討論

青柳はるみ議員

年金毎月支給を行うと、年間数十億円の振込料の増加が見込まれ、システム改修費に56億円、維持経費も増加する。毎月支給になっても年金額は変わらず、経費がかかる割に国民へのメリットは少ない。現場でも賃金管理を上手にできることを訴えていくべきだ。

3人で1人の高齢者を支える時と違い、人口減のためこれから1.5人で支えることになる。

財源の見通しも不明確な状況で、現行の年金制度を根底から覆すような年金制度を創設することには反対だ。

なお、個々の生活を保障するための制度は年金だけでなく、様々な制度を活用しながら、総合的な支援が必要であり、生活の実情に応じた幅広い議論を進めるべきと考える。

東吾妻町職員の給与に関する条例が一部改正となりました

住居手当の支給条件と支給額が一部変更になりました。また、会計年度任用職員の給与等が一部変更となりました。

反対討論

青柳はるみ議員

想定以上のスピードで少子高齢化が進行した。

その他決まったこと

診療所条例の一部を改正する条例

■東吾妻町農業近代化資金融通措置条例の一部を改正する条例

■東吾妻町総合農政推進資金融通措置条例の一部を改正する条例

■群馬県市町村公平委員会 の共同設置

■町道路線の廃止

■町道路線の認定

議会だよりの表紙

写真を募集しています!!

■東吾妻町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

■東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

■東吾妻町子育て支援金支給条例が制定されました

乳幼児を養育する保護者へ、1歳または2歳に到達する乳幼児1人に付き3万円が支給されます。

■東吾妻町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例

■東吾妻町国民健康保険

■東吾妻町交通指導員設置条例が廃止されました

地方公務員法及び地方

東吾妻町交通指導員設置条例が廃止されました

地方公務員法及び地方

令和2年第1回
臨時会（2年1月28日）で決まったこと

■工事請負契約の変更締結

町民体育館改修2期工事
で、工期は3月19日まで

●変更後の金額：495
0万円

●契約相手：宮崎工務店
株式会社 代表取締役
宮崎通（東吾妻町）

質疑

議員 主にクラック（ひび・割れ目）の關係の数量が当初の見込みよりも多くなったということだ
と思うが、図面の凡例でクラックが0.2ミリ以上、0.2ミリというところ、かなり近くへ行つて見ないと分からない。かなりきつとした調査が絶対必要と思うが、それは設計段階できちつと調査すべきだったのでは。

社会教育課長 体育館は

高さがあるので、双眼鏡で壁を見て、その部分のクラックを確認している。議員 高いところは双眼鏡で確認したということだが、0.2ミリはすごく細かい。それを確認するのはかなりの手間なのではないか。設計段階でもっとしっかり調査してもらいたい。

請願・陳情のしかた

◎請願・陳情とは

町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。

東吾妻町議会議員の紹介があるものを請願といい、紹介のないものを陳情といいます。

◎請願・陳情の書き方と提出方法

・受付締切日

定例会前に開かれる議会運営委員会の前日（土・日・祝日の場合は、その前日の午後5時15分まで）

・必要記載事項

請願（陳情）の表題、請願（陳情）の趣旨、理由、提出年月日、請願（陳情）者の郵便番号、住所、電話番号、氏名、印

なお、請願の場合は、紹介議員の署名（または記名押印）、あて先（東吾妻町議会議員）

・提出先：議会事務局（議長宛）

・その他：邦文で記載してください。

皆さんからの請願・陳情

請願	継続審査	東吾妻町簡易水道事業への、移行に関する件	烏帽子区長 春原利男 紹介議員 根津光儀	総務建設常任委員会
請願	採択	大規模自然災害発生時、行政の支援、指導の体制に関する件	烏帽子区長 春原利男 紹介議員 根津光儀	総務建設常任委員会
陳情	採択	町道における通行危険個所の改修に関する陳情	内出区長 角田健治	総務建設常任委員会
陳情	趣旨採択	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める（陳情）	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長代行 女屋定俊 ほか1名	文教厚生常任委員会
陳情	趣旨採択	若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める（陳情）	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長代行 女屋定俊 ほか1名	文教厚生常任委員会

7 議員が町政を問う

一 般 質 問

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（6月中に掲載予定）をご覧ください。

Q

消防団を中心に自主防災組織づくりを

A

防災訓練を実施し災害に強い町を作っていく

Q

台風19号は、人的被害は無かったが中小

河川の氾濫や土砂崩れ等により多くの被害が発生した。地域の人たちは力を合わせて対応し、その後の復旧も進めてきた。地区ごとの事前の計画や訓練が無かったことが悔やまれる。町は「地域防災計画」の中で避難訓練が重要であることを示しているが、行った事があるか。

A

平成27年に五町田地区で行った事がある。

岡崎地区においては自主防災組織を設置し、区長・消防団・各種団体が参加して避難訓練をしている。区長会議の際に、災害対応等を文書で依頼してあ

る。

Q

区長に自主防災組織の任をまかせるのは無理ではないか。

A

行政区の区長にまかせるのが、組織的に無駄が無い。ここに消防団が協力し地域の安全を守っていく区長と団員が会議を重ねて体制作りをしている。

Q

消防団員は団長の命令が無ければ活動することができない。平時の活動、災害時の活動の際、団員の立場をどう位置づけるのか。

A

団長の命令の無い時点で、招集がかかった時点で消防団員である。しかしその人達が発揮する

る力に差はない。

Q

自主防災組織を整えていく際、消防団員を中心にningてもらい区長が応援する形がよいと考える。なぜなら区長の任期は一年だからだ。地域住民を含め万一の怪我などに対しては公務災害として対応できる体制を作るべきだ。

A

団員達の不断の努力を評価している。公務災害の範囲を広げることについては研究が必要である。

Q

町は防災会議を機能させるため訓練方法として図上訓練を繰り返す行い、資材の備蓄も点検すべきだ。

A

備蓄の必要性も認識している。新型コロナウイルス対策で、町の備蓄マスク9000枚を医療機関や教育関係で役立たせることができた。消防機関の指導のもと防災訓練を行い、住民と連携し災害に強い町を作っていく。



ねづみつぎ
根津光儀 議員



建設中の吾妻広域消防署

Q 災害対策ピクトグラムの導入を

A 各機関と連携し進めていく



あおやぎ
青柳はるみ議員

災害用ピクトグラムの例



Q 災害時に見てすぐわかる災害ピクトグラムを準備すべき。

A 災害発生時に障がい者や幼い子供、外国人にも使える有効な手段だ。広域消防本部に早期導入を依頼し、有事に備えたい。

介護施設との災害協定は

Q 在宅高齢者が災害時に、避難所としての集会所や公民館で過ごすのには無理がある。一時避難のための介護施設との災害協定の現状はどうか。

A 現在、災害協定は締結していない。一時避難所では困難な方のため、介護施設と調整していく。

**マイナンバーカード取得に
利便を**

Q カード取得の際の写真が撮れる写真メーカルの撮影機を役場に設置することで町民の利便性を向上してもらいたい。

A 町民課では希望する方にデジタルカメラで顔写真撮影の支援をしている。写真メーカルの撮影機は肌キレイなどの機能もあるということなので導入を検討する。



「誰一人取り残さない」の理念、SDGsを



SDGsの理念に合致した当町の取り組みを生かして積極的に推進して

Q 総合戦略においてSDGsの理念、17の開発目標がどう織り込まれているか。

A 当町は水・歴史・森林とSDGsに合致するものが豊富で、より良い環境のため実行しているものが多い。現在策定中の第2次総合戦略において17の開発目標を踏まえることで、持続可能な地域づくりを目指す計画に盛り込む予定だ。SDGsの理念を職員が理解するため研鑽していく。

Q 文科省ではSDGsを指導要領に入れたSDGsの観点から、見る目を育てていただきたい。教育長はどっthinkか。



SDGsのシンボルロゴ

SDGsとは・・・「持続可能な開発目標」の略称。国連に加盟する193カ国が、2030年までに達成するため掲げた目標。

A 自分の価値や他者を尊重し多様さを認め、豊かな人生を送るため、SDGsの理念を学んでいく。持続可能な社会の作り手として自分に出ることを考え世界を視野に入れる意識を持ちたい。

地方にとっては依然厳しい状況だ

A 地方にとっては、率直に言って大変厳しい

い状況だ。本町においても人口減少は予想を上回る速度で進行し、社会保障・人口問題研究所の推計では2040年には

特に若い世代を中心に東京圏への人口移動が多いが、当町にも新規事業として若者起業支

A 今後も子育て支援から定住施策など、若者にとって魅力ある町づくりを進めていく。その中で町の良き施策を議会にも協力いただき、アピール、お知らせしてい

町の発展と存続のために商工会やJAな

でも活動している。町長には今後、更に各種団体や住民の方々や町づくりに対して対話をしたい。町政懇談会もあるが、地域住民の様々な想いや声を聴いて、それに対して町長の生の声をもっと届けるべきと考えるが。

A 今後も町として、商工会やJA等と人口減少・地方創生問題について互いに意見交換や意思疎通を測りながら一丸となって対策を練っていきたくと考えている。また地域住民との対話も必要であり、しっかりと取り組んでいく。身近な

地域での農業体験を行って頂くのも一つの取り組みと考える。

Year	年少人口 (0~14歳) (万人)	生産年齢人口 (15~64歳) (万人)	老年人口 (65歳以上) (万人)	高齢化率 (%)
1980年	2,752	7,888	1,065	9.1
1985年	2,604	8,254	1,247	10.3
1990年	2,254	8,614	1,493	12.1
1995年	2,003	8,726	1,828	14.6
2000年	1,851	8,638	2,204	17.4
2005年	1,759	8,442	2,576	20.2
2010年	1,684	8,174	2,948	23.0
2015年	1,595	7,728	3,387	26.6
2018年	1,541	7,545	3,558	28.1

(資料) (2015 年まで) 総務省「国勢調査」、(2018 年) 総務省「人口推計 (平成 30 年 10 月 1 日現在)」(2019 年 4 月 12 日公表) に基づき、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局において年齢不詳を抜分の上、集計。

人口・高齢化率の推移(第2期「まちひと・しごと創生総合戦略」より)



たかはしひろし
高橋 弘 議員

Q 台風19号の被害による復旧 対応策について

A 国庫災害復旧事業と町単独 事業等で対応している

Q 昨年の台風19号は「令和元年東日本台風」と命名され甚大な被害をもたらした。当町では、河川の氾濫による土石流、流木等で河川が塞ぎ止められ、町道ではアスファルト、側溝、路肩等の崩壊の被害があったがどうなっているか。

A 10月13日に災害対策本部として被災箇所調査を行い、区長等から連絡を頂いた被災箇所については、担当課で現地確認を行い対応した。

Q 農地、水田等の破損・法面の崩落等の被害が多数あった。復旧作業の進捗状況はどうなっているか。

Q 福島第一原子力発電所の事故により放射性物質が当町にも汚染を

放射性物質の安全性は

A 現地確認を行い、「町単小規模土地改良事業」と「原材料支給事業」を地権者、区長等に説明し復旧作業を進めている。「町単小規模土地改良事業」は2月末で28名の方が申請、「原材料支給事業」は23地区で申請があり一定の復旧作業は進んでいる。



台風19号により洗掘された道路

もたらした。国の基準値を超える放射性物質が検出されたが、現在は人体への安全性は確保されているか。

A 当時、町内で放射線量の高い場所があったが、平成24年5月「東吾妻町除染実施計画」を策定し除染作業を9月に終了した。現在も年4回23箇所空間放射線量を測定しており測定値は規準値以下になっている。

Q 現在、「野生きのこ」「原木栽培干しいたけ」が出荷制限、出荷自粛のため出荷販売が出

来ない。また、「みょうが」等の敷き料として使用している「落葉」も使用が自粛されているが、安全性を確保するために検査機器が必要と思うが、**A** 県の指導により販売を目的として採取された物は、放射性物質検査を行っている。それぞれの直売所は「農産物直売所」に出荷される山菜類等の放射性物質検査について「の県通知も出されているため、食の安全性は確保されていると考えている。検査機器は必要があれば導入検討する。



出荷制限が続く原木栽培干しいたけ

Q 吾妻峡の木と枝を整備し、綺麗な溪谷にならないか

A 文化庁の許可が得られれば、見晴らしの良い溪谷にしたい

Q 4月よりプレオープンする自転車型トロッコの運行計画と料金について伺う。

A 4月中に運行し、田園コースは二本木駅から大割目駅までの0・8kmを往復して、1乗車1台、千円で、1日10往復する。溪谷コースは雁ヶ沢駅から樽沢仮転回場までを往復する片道1・6kmで1乗車1台2千円で1日8往復の計画。溪谷コースでは道陸神トンネルの改修工事や発電所等の工事が来年度末までに予定されているため、工事が完了すれば2・3kmの片道運行とする。

Q 売上増を得るために将来的には中間点にすれ違いレール(複線)を設ければ、運転効率上昇になるか、考えはあるか。

A 用地取得や建設工事、国指定名勝吾妻峡の現状変更が必要となり、実現は難しい。

Q 坂上地区にガソリンスタンドは

A 平成25年12月に、「坂上地区にガソリンスタンドを確保するために、事業者の確保と支援を」の陳情が採択されているが「大柏木川原湯トンネル」が令和2年度末に開

Q 吾妻溪谷の旧国道の部分は木がたくさん茂り、名勝吾妻峡の美しい川底が見えないため、木の伐採や枝打ちを文化庁に申請できないか。

A 溪谷に不似合の杉などや外来種の樹木を中心に文化庁の許可があれば処分して、見晴らしの良い溪谷にしたい。



さとみ たけお
里見 武男 議員

通すると、高崎方面からの県道河原畑大戸線の交通量が大幅に増えていくと思われる。坂上地区のガソリン等の燃料問題について前向きに検討して頂きたい。

A 事業者へ経営について成り立つかを現地調査や年間の取扱量等検討して頂いたが、仮に初期投資費用に町からの支援があっても収支はマイナスになり、経営は無理との報告である。トンネル開通後は、観光目的の交通量増加が考えられるが、環境や人の流れなどが変わっていくなかで、地元や石油業界、国や県と協力しながら地域ニーズにあった対策をコーディネートしていきたい。



たくさんの木が生え、川底の見えない吾妻峡



空き家バンク制度の進展が見られないが



各種補助金導入等検討し、推進していく

Q 当町でも深刻化している空き家問題。平成27年5月に施行された「空き家対策特別措置法」を契機にこの問題の解決を図ろうという自治体が増えてきている。当町における空き家を取り巻く状況はどうか。

A 平成28年度調査時点で空き家数は416戸であり、60歳以上の所有者が8割以上で国調査より1割以上高い。更に空き家となった年数も、10年以上の空き家が6割以上と国調査より3割以上高く、所有者自身による積極的な利活用の意向は弱く、改修や取り壊しを進めるため

の費用負担が大きな課題や障壁になっている。
Q 各自治体では空き家バンク制度に力を入れている。しかし当町ではバンク制度整備が遅れているように思う。原因は。

A も所有者の「資産」であることから、所有者が登録を決断しないと進まないこと。また、せっかく登録しても所有者と利用者との相場の違いから話しが進まないなどの声もあり、思うように進んでいない現状である。

Q 空き家は益々老朽化するので、有益情報整備を早く進めるこ

とが大切。その際には、空き家所有者への家具・道具除去、引っ越し等即効性が見込める補助金検討、併せて都会の若者が地方の自然豊かな所で働き樂しみたいというワークライフバランスにも応えていただけるよう民泊、サテライトオフィス、シェアハウス等の利活用も考慮すべき。

A 空き家バンク制度の進展が遅れているとの指摘を真摯に受けて止めて制度運営を進めていきたい。その中で各種補助制度や若者の起業を支援する各種施策も総合戦略の推進などとも併せ検討して

いきたい。
Q 企業誘致のメリツトは税収のアップ、地域雇用を増やすこと。現状は。

A 町内に事業所の新設、増設及び移転する者に対し、優遇措置を実施。令和2年度予算では企業立地促進条例関連奨励金として4870万8千円を計上している。



たかはしのりき
高橋徳樹議員



古民家利用の民泊施設

Q 町の学童保育政策について問う

A 男女共同参画社会の実現、及び子育て支援の大切な事業である

岩島地区学童保育所について

Q 開所が遅れると聞いたが。

A 新年度4月1日には開所できない。現在トイレ等を改修中で支援員も募集中。条件が整い次第開所する。

学童保育の空白期間への対応について

Q 原町地区も閉園となり、空白期間が生じると保護者にとっては死活問題である。4月1日以降どのように対応するのか。

A 空白期間が生じないよう町が暫定的に受け入れ態勢を整える。

Q 児童を一時的に他の施設へ預け、再度別の施設へ移転という場合手続きが煩雑だ。保護者の負担を減らす特別措置を求める。

A 指摘の通り、手続きを簡略化し対応する。

原町こどもクラブの閉鎖と旧原町保育所への学童施設移転について

Q なぜ閉鎖が決定した原町学童施設を町営で継続運営できないのか。

A 境内の灯籠等、安全性に問題があるため。

Q つい3週間ほど前まで、町は他の民間事業者（大宮殿鼓神社内）の利用を要請していた。「民営の場合は現施設で、町営の場合は安全性の面から他の施設で」という町の主張は問題ではないか。

A 今年1月14日、原町こどもクラブ運営者である大宮殿鼓神社総代



いのうえひでき
井上英樹議員

会より、「他民間事業者へ運営引継ぎを要請中であり、町も同様に対応してほしい」と要請を受けた。町もその事業者へ要請したが最終的に断られた。

Q 国のガイドラインでは、町の審議会、保護者、支援員等の意見聴取を行い、十分に配慮するようにと示されている。行政手続き上、問題ではないか。

A 指摘は当然で申し訳なく思う。今週、保護者との意見交換会を開催するよう準備した。

Q 原町こどもクラブ関係者と町担当課の双方からこれまでの経緯について説明を受けたが、町の対応は一貫性に欠ける。当町における本事業の監督者は町長であり、責任ある対応を求める。

A 現在、新型コロナウイルスで学童保育施設の需要は拡大しており、町として切れ間なく対応する。



3月定例会後、民間事業者で継続運営が決定した原町学童施設

議案などの審議結果

第1回 臨時会（令和2年1月28日）

議案名	議員名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1 須崎幸一	2 渡一美	3 井上英樹	4 高橋弘	5 茂木健司	6 高橋徳樹	7 里見武男	8 小林光一	9 重野能之	10 竹淵博行	11 佐藤聡一	12 根津光儀	13 樹下啓示	14 青柳はるみ	議決日
工事請負契約の変更締結（町民体育館改修2期工事）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1/28

第1回 定例会（令和2年3月4日～17日）

議案名	議員名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1 須崎幸一	2 渡一美	3 井上英樹	4 高橋弘	5 茂木健司	6 高橋徳樹	7 里見武男	8 小林光一	9 重野能之	10 竹淵博行	11 佐藤聡一	12 根津光儀	13 樹下啓示	14 青柳はるみ	議決日
東吾妻町職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町交通指導員設置条例を廃止する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
吾妻峡温泉天狗の湯使用料条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町子育て支援金支給条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町農業近代化資金融通措置条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町総合農政推進資金融通措置条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町林業構造改善事業審議会条例を廃止する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
東吾妻町町営住宅管理条例の一部を改正する条例		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和2年度東吾妻町一般会計予算		14	11	2	可	-	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	3/16
令和2年度東吾妻町国民健康保険特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和2年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和2年度東吾妻町介護保険特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和2年度東吾妻町地域開発事業特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和2年度東吾妻町下水道事業特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和2年度東吾妻町簡易水道特別会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和2年度東吾妻町水道事業会計予算		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和元年度東吾妻町一般会計補正予算（第6号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和元年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和元年度東吾妻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和元年度東吾妻町介護保険特別会計補正予算（第3号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和元年度東吾妻町地域開発事業特別会計補正予算（第2号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和元年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第3号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
令和元年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算（第2号）		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
群馬県市町村公平委員会の共同設置		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
町道路線の廃止		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
町道路線の認定		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
大規模自然災害発生時、行政の支援、指導の体制に関する件 ※委員会の採択に対し		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
町道における通行危険箇所の改修に関する陳情 ※委員会の採択に対し		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16
年金支給の隔月支給を毎月支給に改める（陳情） ※委員会の趣旨採択に対し		14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	3/16
若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める（陳情） ※委員会の趣旨採択に対し		14	12	1	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	3/16
原町地区学童保育事業についての決議		14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/16

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席 議長（1番）は採決に加わらないため「-」で表示

各委員会からの活動報告

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会では、付託されている令和2年度地域開発事業特別会計予算等を審議しました。所管事務調査では各委員から活発な質疑が行われ、メリハリのある当初予算編成の必要性、また、原町日赤医師確保補助金の在り方について意見が出され、執行部からは丁寧な説明と答弁をして頂きました。

また、請願1・2号、陳情1号が当委員会に付託され現地視察・調査を実施しました。継続審査となりました請願1号「東吾妻町簡易水道事業への移行に関する件」については、委員会として当該地区の切実な想いと現状を十分に理解するとともに町当局からも意見を聞かせて頂き、引き続き調査・研究すべく継続審査とすることに全会一致で決定しました。

文教厚生常任委員会

西吾妻福祉病院について
令和元年12月18日、西吾妻福祉病院の視察研修を行いました。

平成14年2月に開院以来、ベッド数111床で産婦人科の分娩を行うことのできる総合病院として運営されてきましたが、令和元年より分娩休止・74床となっております。

外来診療は基本的に総合診療科が担い、専門科目は予約が中心とのことでした。

原町日赤との連携を模索して行くことが地域医



療にとって有効であると認識しました。

大戸診療所について

令和2年1月14日に大戸診療所の視察・研修を行いました。

医療法人坂上健友会が運営する大戸診療所は、設立の複雑さはあるが、現在は、介護サービス・訪問診療等も行っており地域から信頼され、

地域密着型の典型。中心的医師の高齢化もあり、議会として見守ることが必要であると認識しました。

中心的医師が週3日の勤務のほか、佐久病院より1名が週1日勤務。そのほか非常勤医師4名の連携により診療を確保しているとのことでした。質疑・意見交換の後施設

西吾妻福祉病院のロビー



を視察しました。

国保診療所について

また、同日、国保診療所の視察・研修を行いました。東吾妻町国保診療所は、患者の年齢的傾向や、今季インフルエンザの患者数・時間外診療等について質疑しました。

1月16日に委員会を開催し、三つの医療機関視察の総括として会議をも

各委員会からの活動報告

ちました。

共通の問題として、医師確保の難しさと経営の難しさがあり、それらも踏まえ、行政当局と情報交換等の交流が進むことを期待します。

小学校の視察

2月13日に、教育委員会・学校教育課のご協力をいただきまして、原町小学校、太田小学校の視察研修を行いました。



原町小学校視察の様子

議会運営委員会

10年を迎えた「議会報告会」の今後の運営の方法を協議しました。

今まで通り1か所で、

2部構成で後半は懇談会やワークショップ、年代別に分けてやったらという意見が出ました。時期についても意見の集約ができず、議会基本条例第2項4項共に今後も協議を重ねていきます。

次に今回の台風19号の被害を受けて災害支援本部設置要綱や基本条例も視野に協議しました。災害時、自分の行動も含め、マニュアル化は必要ではないという意見も出て、委員長・副委員長で設置要綱案を作成し、それをもとに協議を進めることとなりました。

行財政改革特別委員会

旧庁舎跡地の利活用

方向性は「町内向けの町民の多世代が集う施設」。駅南と日赤病院までの一体的エリアとして考えるとの説明を受けました。

上信道と高速バスとの関係で駅南ロータリーが

できればバスの乗り入れもできるとの意見が出ました。

地域公共交通

坂上地区のPTAに説明会、意見聞き取りが行われ、高校でのワークショップを経て、今後答申を受け法定協議会、陸運局へと進めるとの説明を受けました。

町有施設の有効活用

委員会では昨年現地調査した箱島住宅団地南側町有地を住宅地にするための調査費用が当初予算に入りました。まず10棟建てることを目標に調査する他、遊休町有地の市場調査をするとの報告を受けました。

今後、途中経過の報告を受けて、研究していくこととしました。

八ッ場ダム及び地域開発特別委員会

2月21日に八ッ場ダム下で建設中の、八ッ場発電所の導水路の視察を実施

施しました。

本工事は、水資源の有効活用を図るものであります。

導水路トンネルは、約400mが長野原町分で、残り2000mが東吾妻町となります。

完成は令和3年度末との説明でした。

上信自動車道関連では、渋川の中村インターから箱島インターまでは、今年の夏の早い時期に開通する予定との報告がありました。



導水路トンネル内部

まちの声

「地産地消で地元元気を」

茂木 将さん (31歳 / 植栗在住)

現在、茂木農園ではイチゴやお米、サツマイモ、ソバを栽培しています。中山間地域特有の高齢化や、形・面積が小さく法面が多いなどの課題は多いですが、おいしいお米を作ることを目指しています。

今の時期はイチゴを直売しています。県内から県外にわたって多くのお客様に立ち寄っていただいています。全国への配送も行っていて、たくさんのお客様の手元に届いていることに喜びを感じています。

一方で、地元の方にも食していただいて嬉しい声をもらっています。直接顔を合わせ、食べている顔や反応を見られるというのは直売の利点です。また地元の給食にイチゴを卸すときには、ひと粒ひと粒を厳選し、子供たちが喜びますように・・・と心を込めています。販売する側からみると私たちの商品を多くの人へ、全国へ。つまり外へ外へ、と思いがちです。しかし、一番大事なのはまず、地元の皆さんに喜んでもらえることなのではないかと感じています。

この東吾妻町は土地、天候からしても作物を育

てる面においてよい環境です。地元の農家が地元を元気にすべく活動していけたらと感じています。「いずれ、我が家で栽培したお米を町の学校給食で子供たちに一度食べさせたい。それができたら、こんなに嬉しいことはない」と思いながら育てています。

身近な人へこの味を届ける事によって自分たちの住んでいる東吾妻町、これから故郷になるうとしている世代に「東吾妻町は良きふるさとだ。」そう自信と誇りをもっていただけたらと思います。それが町の将来に繋がってくると信じて・・・

私たちは今後も町の農業に手を添えながら、茂木農園のおいしい物を皆さんの食卓に届けられるように日々頑張っていく・・・



議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は6月5日開会予定

6月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5 本会議	6
7	8 常委	9 常委	10 特委	11 特委全協	12	13
14	15 本会議	16 本会議	17	18	19	20

※予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響で、56年ぶりに開催予定の東京五輪・パラリンピックが、前例のない来年の七月以降に延期となりました。町内に於いては各種イベント・集会等が中止になってしまっています。新型コロナウイルス終息の見通しが立たず、健康や安全、生命第一と考える動かなければと思えます。危機意識を持ち不要不急の外出は自粛したいもので

議会議長 樹下 啓示
副議長 井上 英樹
委員 渡辺 一美
委員 高橋 弘
委員 茂木 健司
委員 高橋 徳樹
委員 青柳 はるみ

今後、本議会だよりの紙面の充実を図るよう委員一同取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。
(高橋 弘)

編

集

後

記